

自治会活動 参加レポート

No.7 東京街道団地自治会

高齢者見守り活動 （平成26年9月5日訪問）

東京街道団地自治会は東京街道団地全域を網羅している、加入世帯 1431 世帯（平成26年4月1日現在）、加入率は100%の大規模自治会です。昭和39年に建設された大型都営団地で、平成11年には高層住宅への建て替えが行われ、現在に至っています。東京街道団地自治会での高齢者対策の取組みをご紹介します。

今回は自治会事務所にて、自治会役員の方々に高齢者対策を中心に様々な自治会の取組みについてお話を伺いました。

今回お話いただきました、自治会役員の方々



事務所の方々



お話を伺います

現在東京街道団地自治会は、住民約3,300人のうち65歳以上の方は約1,300人で、高齢化率は約40%となっています。市内の他の自治会でも問題になっているところがありますが、東京街道団地自治会でも高齢者の見守り等が自治会の大きな問題となっているそうです。

そこで、高齢者の方たちに「まずは閉じこもらず、お部屋から出てきていただきたい」との思いから、自治会では、自治会事務所を利用したカラオケ（2時間で200円・最新カラオケです）や花畑作り等の事業を行っているそうです。



最新カラオケ



「清原花水木」での作品

シャツ型コースターとお花



また、東大和市社会福祉協議会で実施している「ふれあいなごやかサロン」が自治会の協力のもと、自治会集会所で行われています。

第1集会所で行われている「サロンひだまり」

はお茶飲みや軽体操・多摩湖塾を利用した勉強会等、第2集会所で行われている「きよはら花水木」では主に手芸活動を行っています。清原地域だけではなく、近隣の地域からも参加者があり、皆さんの憩いの場になっているそうです。

そのほか画期的な取組みとして、毎年12月に団地内の高齢者宅に学区域の市立第三中学校の生徒さんが訪問する事業を行っているそうです。10年ほど前に始めた時には参加する中学生も少なかったそうですが、最近では170人程のボランティア中学生が参加をしてくれるそうです。

ちょうどお孫さん世代となるからでしょうか、喜んでくださる高齢者がとても多く、お菓子などを用意して中学生の訪問を心待ちにしているそうです。

この事業、高齢者の方たちのためだけではなく、高齢者の方とふれ合う機会の少ない中学生にとっても、とても良い経験になっているのではないのでしょうか。

以前は、団地内での「孤独死」があったそうですが、様々な取り組みを始めたところ、新聞が溜まっているお宅があると「どうしたんだろう」と関心を持ってくれるようになったそうです。その結果、孤独死がかなり減ったとのことでした。

ただ、うまくいかないこともあります。

「あの人どうしたんだろう」「住んでいないみたいだけど…」と住民が気づいて心配しても、入居者の方の入院した・施設に入られた等の情報が分らず、やきもきすることが度々あるそうです。

見守りを行ううえで、地域の関係機関で高齢者の方たちの情報を共有することは、とても大事であるとの武藤会長のお話でした。

また、昔は子どもたちが多く、お祭りにもぎやかであったとのことでしたが、今では子どもがずいぶん少なくなり、山車を引く子どもたちがいないため、今はお神輿をかつぐだけになったそうです。都営団地は原則子ども世帯に引き継げないので、行事等を次の世代に繋げていくことが難しいと役員の方が寂しそうに話してくださいました。

地域で高齢者の方や子どもたちを見守っていくには、いかに情報を共有し、横の繋がりをつくるかが今後の課題であると思います。

このような中で、自治会役員の方たちが中心となってアイデアを出し合いつつ、地道な見守り活動をしてくださっていることが、高齢者のみならず、住民の方たちが安心して生活を送る一助になっていることを、改めて感じました。



お祭り情報



東京街道団地自治会では、平成26年10月4日・5日に秋祭りを行います！

10月4日（土）18：00からはビンゴ、カラオケ、盆踊り、模擬店があります

5日（日）14：00からは、自治会自慢のお神輿が出ます

18：00からは太鼓、盆踊り、模擬店があります



出番を待つお神輿と太鼓



場所：団地中央少年広場

近隣の方や自治会のかたでなくても、参加できるそうです。

ぜひ、遊びにいらしてみてください。

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課 市民協働係までお問合せください。

電 話 042-563-2111（内線1711）

ファックス 042-563-5931

※平成29年4月より課名が「地域振興課」へ変更となりました。